



## 松戸市内水ハザードマップ（紙面版）を更新しました

ないすい  
内水（※）ハザードマップは、下水道管（雨水管）の排水能力を超える集中豪雨などの雨に対して、市民の皆様にご協力いただき、日頃からの備えや対策をとっていただくために作成しているものです。松戸市では平成31年度から内水ハザードマップを公表し、浸水への注意を呼びかけてきました。近年、集中豪雨の多発により内水氾濫（※）のリスクが高まっていることや、令和5年に国の水害ハザードマップ作成の手引き改訂を踏まえ、このたび紙面版のマップを更新しましたのでお知らせします。

（※）内水とは、川の水を「外水」と呼ぶのに対して、河川の堤防で守られた土地（住宅地や道路など人が生活する土地）に溜まる雨水のことを指します。

（※）内水氾濫とは、大雨などにより下水道（雨水管）や排水路などの排水能力を超える雨水が、道路など地表にあふれ出して起こる浸水のことを指します。

### ● 主な更新内容

- （1）想定する降雨量を、1時間あたり71mmから153mmに変更
- （2）地図上に「土砂災害（特別）警戒区域」の範囲を追加（全237カ所）
- （3）浸水深の表示色を土砂災害（特別）警戒区域がより見やすくなるように変更

※内水ハザードマップ外国版（英語、中国語、ベトナム語）も同様に更新し、本市のホームページで公表します。

### ● 配布場所（マップは無料）

下水道整備課（松戸市役所別館3階）、危機管理課（松戸市役所別館1階）  
市民課（松戸市役所新館1階）、各支所、各市民センター  
※上記の窓口などで7月中旬頃より順次配布の予定

### 【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市建設部下水道整備課 ☎047-366-7361

FAX047-363-6779 ✉mcgesuidouseibi@city.matsudo.chiba.jp

# まつどし ないすい 松戸市内水

## ハザードマップ

●内水ハザードマップは、下水道の排水能力を超える集中豪雨などの大雨に対して、市民の皆様にご用意の備えや対策をとっていただくために作成したものです。この地図はあくまでも想定図なので、着色されていない部分でも、状況により浸水する場合がありますので、注意してください。松戸市のホームページからも同じ情報をご覧いただけます。

### 想定条件

**1時間あたり 153.0mmの雨量**

※「浸水想定(洪水、内水)の作成等のための 想定最大外力の設定手法(平成27年7月、国土交通省 水管理・国土保全局)」にて設定された関東地域における想定最大規模降雨

### 浸水深の凡例と目安

内水ハザードマップでは、予想される浸水の深さを色別で示しています。

3.0m以上
1.0m以上 ~ 3.0m未満
0.5m以上 ~ 1.0m未満
0.3m以上 ~ 0.5m未満
0.3m未満

- 歩行が困難となる深さは、膝の高さ以上(大人0.5m、子供0.2m程度)です。
- 深さ0.3m程度で、自動車の走行に支障をきたす場合があります。
- 市のホームページ(やさシティマップ)と紙面の内水ハザードマップでは、浸水深の色が異なります。

### 土砂災害(特別)警戒区域とは?

がけ崩れとは、地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

#### 前兆現象に注意!

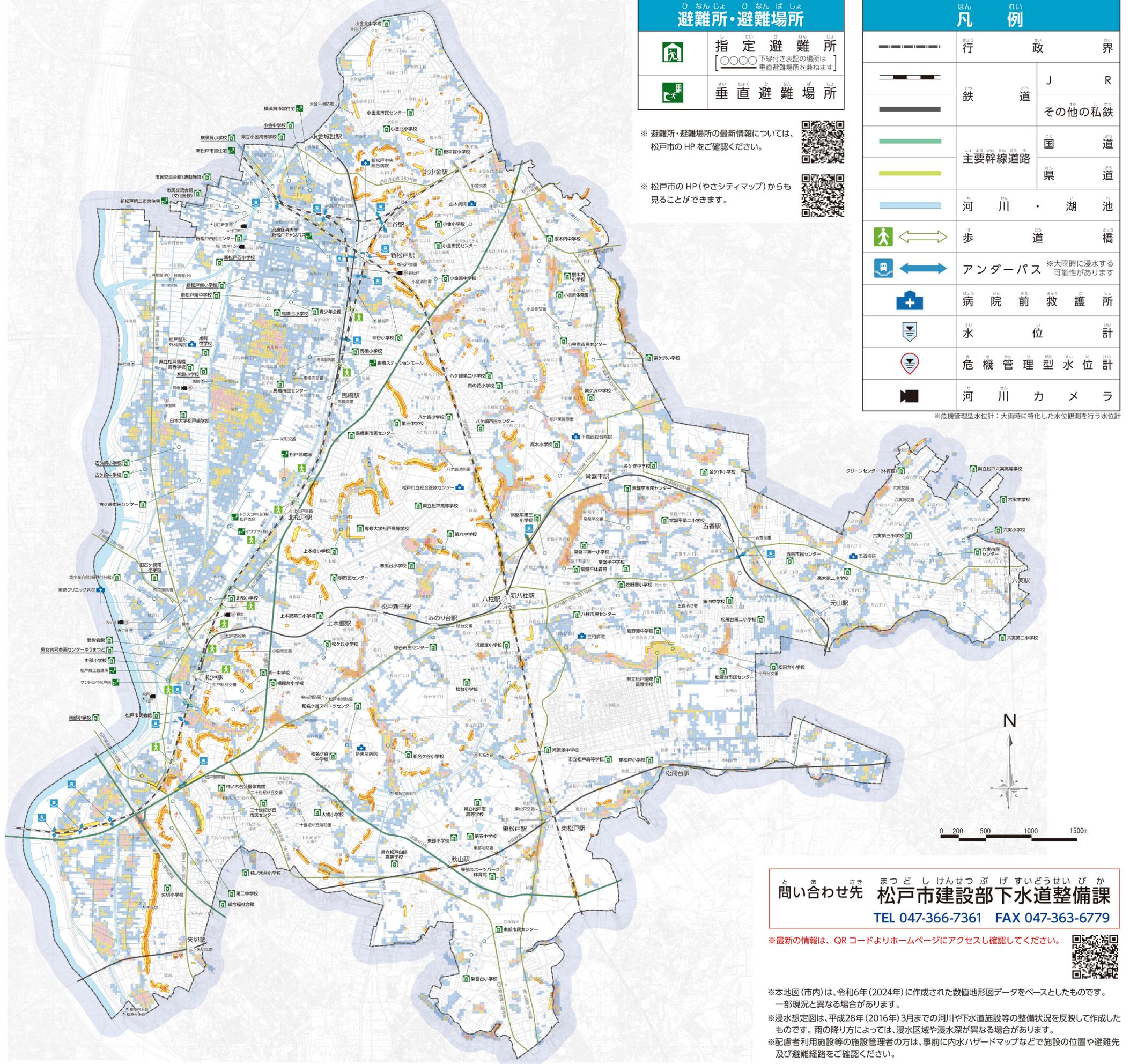
土砂災害が起こる前は、がけに変化が現れます。見かけたら早めに安全な場所へ避難しましょう。

- 小石が落ちてくる
- 水が吹き出す 急傾斜地
- 割れ目が出る 特別警戒区域 警戒区域

#### 土砂災害の凡例

土砂災害警戒区域 (がけ崩れ)

土砂災害特別警戒区域 (がけ崩れ)



### 避難所・避難場所

指定避難所 [〇〇〇〇 下線付き表記の場所は 垂直避難場所を兼ねます]

垂直避難場所

※ 避難所・避難場所の最新情報については、松戸市のHPをご確認ください。

※ 松戸市のHP(やさシティマップ)からも見ることができます。

凡例	はん	れい	例
行政界	行	政	界
J R	鉄	道	J R
その他の私鉄			その他の私鉄
国道	国	道	国道
県道	県	道	県道
河川・湖池	河	川	湖池
歩道橋	歩	道	橋
アンダーパス	ア	ン	ダ
※大雨時に浸水する可能性がります			※大雨時に浸水する可能性がります
病院前救護所	病	院	前
水位計	水	位	計
危機管理型水位計	危	機	管
河川カメラ	河	川	カ
			メ
			ラ

※危機管理型水位計：大雨時に特化した水位観測を行う水位計

お問い合わせ先 **松戸市建設部下水道整備課**

TEL 047-366-7361 FAX 047-363-6779

※最新の情報は、QRコードよりホームページにアクセスし確認してください。

※本地図(市内)は、令和6年(2024年)に作成された数値地形図データをベースとしたものです。一部現況と異なる場合があります。

※浸水想定図は、平成28年(2016年)3月までの河川や下水道施設等の整備状況を反映して作成したものです。雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深が異なる場合があります。

※配慮者利用施設等の施設管理者の方は、事前に内水ハザードマップなどで施設の位置や避難先及び避難経路をご確認ください。

# まつどし 松戸市 内水ハザードマップ

ないすい 保存版

いざという時に確認できるように 他の防災マップと併せて保管しましょう

## 内水ハザードマップとは



内水ハザードマップは、下水道(雨水管)の排水能力を超える集中豪雨などの大雨に対して、市民の皆様にご白濁からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

このマップを活用し、ご自宅などで浸水するおそれがないか、避難場所などと併せて確認し、白濁から大雨による浸水被害に備えましょう。

## 問い合わせ先

問い合わせ先  
**松戸市 建設部 下水道整備課**  
 千葉県松戸市根本387番地の5 別館3階  
 TEL.047-366-7361 FAX.047-363-6779  
 令和7年(2025年)4月版

## 1. 内水氾濫とは



- 洪水(外水氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が高くなることで堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。
- 内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水施設の排水能力を超えるときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、マンホール、側溝や水路などから水があふれて、浸水することです。あふれた水はアンダーパスなど低い場所に溜まりやすいので注意が必要です。

## 2. 内水氾濫に備える

**気象情報の確認**

大雨に関する気象情報を得たり、冷たい風が吹き始めるなど、大雨が予想されるときは、テレビやラジオなどで天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

**側溝の清掃**

道路ますなどがゴミや落ち葉で詰まると雨水が排水できず、浸水が発生する場合があります。近くの側溝周辺の清掃にご協力をお願いします。

**内水ハザードマップの確認**

内水ハザードマップを用いて、事前に自宅付近の浸水想定状況や避難所を確認しましょう。浸水が深い場所や、危険な場所を避けて避難経路を把握しましょう。

## 防災関連の情報入手

防災関連の最新情報は松戸市公式ウェブサイトなどでご覧ください。

松戸市公式 ホームページ <https://www.city.matsudo.chiba.jp/>

松戸市公式 X(旧Twitter) [https://x.com/matsudo\\_city](https://x.com/matsudo_city)

松戸市公式 LINE <https://line.me/R/ti/p/@454tybyb>

災害情報をメール配信していますので、ぜひ、ご登録ください。

松戸市安全安心メール <https://service.sugumail.com/matsudo/>

ちば防災メール <https://chibapref3.bosai.info/bosaimail/>

「防災行政無線(防災無線)」でも情報を発信していますが、再度、放送内容を確認したいときは、下記の電話番号までご連絡ください。

**防災行政無線音声自動応答**  
 (フリーダイヤル) ☎0800-800-9366  
※毎日午後2時と夕方に放送している定期放送には対応していません。

## 3. 内水氾濫に関する情報

雨量	大雨・洪水注意報		大雨・洪水警報		大雨特別警報
	少ない	※警報・注意報発表の目安です			
1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の降り方	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	どしゃ降り。側溝や小さな川などからあふれはじめる。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。	ゴーゴーと滝のように降る。マンホールから水が噴出する。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
市民の行動	気象情報やハザードマップを確認しましょう。				
内水浸水想定					

※雨の強さに応じた浸水の深さについては、松戸市のホームページからもご覧いただけます。

## 4. 内水氾濫の防災と避難

### 家庭でできる対策

**長めの板と土のう**  
 土のうを作り、長めの板などと組み合わせて、家屋への水の流入を防ぐことができます。

**水を入れた袋とダンボール**  
 水を入れたポリ袋をダンボールに入れてならべます。

**プランターやポリタンクとレジャーシート**  
 プランターやポリタンクをならべ、レジャーシートで包みます。

### 危険箇所

**水路周辺**  
 水路には、ガードレールなどの柵がない場合があります。浸水時には、水路の場所がわからず誤って流される危険がありますので、近づかないようにしましょう。

**アンダーパス**  
 地下道や地下歩道などの低い場所は、浸水時には、周辺から水が流れ込んで冠水する恐れがあり危険ですので、近づかないようにしましょう。

### 屋内での避難

**2階以上へ避難(垂直避難)**

**地下は危険**

内水氾濫については、短時間での浸水も想定されます。急な豪雨で外に出ることに危険を感じたら、無理に外に避難せず、2階以上の高い場所に移動して雨がおさまるのを待ちましょう。

地下は危険ですので近づかないようにしましょう。地下から地上へ避難する場合、流れ込んでくる水に逆らって階段を上ることはできないので、事前に離れましょう。

### 屋外での避難

**無理せず周辺の安全な建物へ**

**自動車での避難は控えて**

浸水深が50cm以上になると、避難には、危険を伴うことがあります。無理せず、周辺の安全な建物へ避難しましょう。

自動車での避難は緊急車両の通行や水防活動の妨げになる場合がありますのでやめましょう。

**マンホールや側溝に注意**

**高齢者などの避難に協力を**

避難は動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけ、移動時はマンホールや側溝に注意しましょう。

高齢者や子ども、傷病者など要配慮者は、早めの避難が必要です。周囲の方々には避難に協力しましょう。